令和6年度第2回地域密着型サービス事業運営推進会議議事録

（特別養護老人ホームほうじゅの郷分）

１　開催日時　　令和6年7月26日（金）　14時15分～15時

２　開催場所　　特別養護老人ホームほうじゅの郷　会議室

３　出席者

　　　　　　〇運営推進委員

　　　　　　　　　川村　明（地域民生委員）

　　　　　　　　　高橋　誠（市民サービス課長）

　　　　　　　　　菊池知子（石鳥谷地域包括支援センター管理者）

　　　　　　　　　袴田浩一（ほうじゅの郷家族の代表）

　　　　　　〇事務局（施設職員）

　　　　　　　　　小原秀幸（施設長）

　　　　　　　　　中村勇子（ほうじゅの郷管理者兼主任生活相談員）

　　　　　　　　　岩谷大明（ほうじゅの郷生活相談員兼フロアリーダー）

４　欠席者　　　川村和生（地域住民代表）

５　協議内容

1. 施設見学
2. 事業の進捗状況
3. 身体拘束に関する事項について（身体拘束適正化委員会）
4. 事故等に関する事項について

６　会議の経過

　　　　　14時15分、小原施設長は運営推進会議の委員のうち地域住民代表の川村和生委員の欠席を報告し、他の委員が出席していることを確認して開会を宣言する。

小原秀幸　　本日はお忙しい中ご出席をいただき誠に有難うございます。

　　　　　　　日頃から当施設の事業運営につきましては格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

　　　　　　　今回の運営推進会議は、事業所ごとに分けて開催することとし、主に施設を見学していただいて、委員の方々から率直なご意見を伺う機会としたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

　小原秀幸　　それではこれよりほうじゅの郷の協議に入り、早速施設見学とさせていただきます。

　　　　　　　　　－　ほうじゅの郷の施設見学を行う　－

　小原秀幸　　それでは、施設を見ていいただいたうえで、資料に基づき説明をして参ります。

　中村勇子　　資料の基づき、施設の進捗状況等について説明する。

　小原秀幸　　只今の説明について、ご質問ご意見等ございませんか。

　　　　　　　大分細やかに説明をいたしましたが、ユニットケアの考えに沿って、全てにおいて取り組んでいることをご理解願えればと思います。

　小原秀幸　　特に無ければ次に移ります。身体拘束に関する事項について、事務局に説明を求める。

　中村勇子　　資料の基づいて詳細に説明する。

　　　　　　　身体拘束の実例について詳細に説明する。

　　　　　　　施設の方針は、身体拘束をしないということでありますが、本人の負担、衛生面の確保等、身体拘束を行う場合の決まりに沿って家族の同意の下、身体拘束をしております。

　小原秀幸　　便いじりというケースですが、委員の皆さんから何か良い手法、アイディア等のご提案はありませんか。

　　　　　　　特にないようですので、報告ということで説明させていただきました。今後も、その後状況等については報告しながら意見を賜りたいと存じます。

　小原秀幸　　次に事故等に関する事項に移り、事務局に説明を求める。

　中村勇子　　資料に基づき、詳細に説明する。

　　　　　　　事故防止委員会は基本的に法人単位で行っていますが、事故を出来るだけ減らせるよう、特養独自の委員会を開催することといたしました。

　　　　　　　花巻市に報告する程度の事故も発生しており、部署間の連携やコミュニケーションの充実、観察力、注意力、予測の能力等が身につくよう、事故に関する検証の充実、研修等の受講による啓発活動にも力を入れております。

　小原秀幸　　事故を皆無にすることが目標ですが、なかなか思い通りにはいきません。

　　　　　　　事故等について特になければ、これからは情報交換も含めて各委員からのご発言をお願いします。

　川村　明　　特にないです。

　高橋　誠　　ユニットケアについて説明がありましたが、どこが一番大変なところ、課題としてはどのようなところがあるのでしょうか。

　中村勇子　　介護職員のケアに関する動きとして、例えば食事一つとっても、少ない職員の中で一人ひとりに寄り添った介護を行おうとするのであれば、入居者様が一斉に食事を食べさせるのではなく、それぞれの状況に合わせて、時間をずらしながら介助することで寄り添った介護が可能となるのですが、介護職員の心理として、どうしても一斉に食事をするとか、寝ていただくとか、排泄介助するとか、という考えになってしまいます。これは従来の施設のやり方であり、職員もその動きに体が慣れてしまっているでしょうね。これではユニットケアとは言えません。職員一人ひとりの意識をいかにかえていくかが課題になっています。

　高橋　誠　　確かにわかりますね、みんなで一気にやってしまおうとしまいますよね、仕事って。

　　　　　　　なるほど、生活の流れとして捉えれば、やっぱりユニットケアの考え方が一番いいのだと思います。

　小原秀幸　　包括さん、いかがでしょうか。

　菊池知子　　口腔ケアはどのようにされていますか。

　中村勇子　　週一回歯科医師が来てチェック等してもらっています。入居者の皆さんは毎食後3回口腔ケアしておりまして。今では先生に褒められています。最近では先生を講師に招いて勉強会も開催したりして、意識は高められていると感じています。

　菊池知子　　誤嚥性肺炎にも影響しますからね。素晴らしいことだと思います。

　小原秀幸　　有難うございます。これからも委員の皆さんからご意見やご指摘をいただきながら適切な運営が成されるようつとめて参りますので、引き続き宜しくお願いいたします。

　　　　　　　次回の会議は9月27日を予定しておりますので、ご出席のほど宜しくお願いいたします。

　　　　　　　以上をもちまして、ほうじゅの郷の運営推進会議を終了し、本日予定された一切の会議が終了したことを宣言いたします。

　　　　　　　本日は長時間にわたり誠に有難うございました。

閉会　　15時10分

議事録作成者

社会福祉法人宝寿会事務局

特別養護老人ホームほうじゅの郷

はなみずき石鳥谷

施設長　小　原　秀　幸　　　　㊞